

**令和5年度 川口市 行政評価  
外部評価委員会 外部評価結果**

担当課	環境総務課
事業名	地球温暖化対策活動支援事業

## I 定量評価（評価の各観点について、一定の基準に基づいた数値による評価）

	評価の観点					選択肢	
	①趣旨・目的及び達成手段	②事業の効果	③事業の効率化	④課題解決への取り組み	⑤今後の事業の方向性		
A委員	3	3	3	2	2	4	適正 適正な事業運営がなされている
B委員	3	2	2	2	2	3	概ね 適正 工夫や改善の余地があるが、概ね適正な事業運営がなされている
C委員	3	3	3	2	2	2	改善の必要あり 概ねこのままの事業運営で差し支えないが、工夫や改善が必要である
D委員	3	3	3	3	3		
E委員	3	2	2	2	3	1	抜本的見直し 抜本的に事業の運営を見直したほうがよい
F委員	3	2	2	2	2		
G委員	4	2	2	3	3		
委員会全体	3	2	2	2	2		

## II 定性評価（評価の各観点について、意見やアドバイス等のコメントによる評価）

No.	評価の観点	評価コメント
1	①趣旨・目的及び達成手段	この名称の事業に取り組む自治体としては、現在取り組んでいるような内容が適正である。
2	①趣旨・目的及び達成手段	公平かどうかについて疑問を感じた。
3	①趣旨・目的及び達成手段	地球温暖化対策としては必要な事業である。
4	①趣旨・目的及び達成手段	今、地球温暖化で異常気象や生態系が破壊されたり、様々な影響が出ており、地球温暖化を食い止めるためにも化石燃料の使用を減少させるため必要性は高い。
5	①趣旨・目的及び達成手段	必要性は市で判断出来るものではなく国策なので評価することが難しい。
6	②事業の効果	自治体に取り組む内容としては、支援金の支出が主なものとなり、適正に行っていると思われる。
7	②事業の効果	具体的なことが見えてこなかったが、説明を聞くと有効なものと思えた。
8	②事業の効果	2030年までの温室効果ガス削減目標はあるものの、市で行っている10の支援メニューが毎年、何件支援したら削減目標を達成できるのかが明確になっていない。実績を積み上げて予算を拡大させていきたいという話だったが、件数による目標がないと予算額を増加する理由としては弱く、やはり明確な支援件数の目標設定が必要ではないかと思う。

No.	評価の観点	評価コメント
9	③事業の効率化	太陽光発電がメインになっているが、他の方法も検討する必要がある。
10	③事業の効率化	市民への周知がまだまだ足りていないと感じた。支援金があっても利用されなければ意味がなく、今後は既存の戸建てを対象としているのであれば、新しい周知方法を検討してほしい。
11	③事業の効率化	有効性については、この事業でこれを明らかにすることは難しい。また、事業に対する寄与度・達成状況について、予算執行率及び予算増加が推進度を測るモノサシとの回答だったが、これは効率性の概念とかなり対立する考え方であって、違和感を感じた。
12	④課題解決への取り組み	この事業の効果が本当に地球温暖化対策になっているかどうかは、市レベルでは検証することは難しいと思われる。ただ、この事業の成果や活動指標を見える化する努力が必要ではないかと思う。
13	④課題解決への取り組み	太陽光発電以外にも何か取り組んでほしい。
14	⑤今後の事業の方向性	多くの人に周知出来ているかどうか疑問であり、周知の方法をもっと模索する必要がある。例えば、この第一本庁舎での太陽光発電の実績を見える化し、評価してはどうか。
15	⑤今後の事業の方向性	地球温暖化対策として市が出来ることは、その活動をしている市民を支援していくことだと思うので、概ね適正とした。
16	⑤今後の事業の方向性	温暖化対策に対しての内容が太陽光発電システムなどいろいろな支援メニューがあるが、省エネ対策についても支援に追加してもいいのではないかと思った。
17	⑤今後の事業の方向性	太陽光発電がメインになっているが、他の手段、例えば電気自動車などの省エネについても推進していかないといけないのではないか。2030年の目標を達成したら終わりという事業ではないので、長期的な視点をもって、色々な方策に取り組んでいく必要がある。
18	⑥事業全体を通じた総合的な評価	地球温暖化対策は必要な事業で、市として出来ることは市民の活動を支援することだと思う。個人的には太陽光発電を設置することに抵抗があり、災害などで家が潰れたり、いつ何が起こるか分からない状況の中、年数を経過したパネルの廃棄処分など、様々なことを考えて太陽光パネルの設置を進めていかないといけない。電気代が安くなって良かったという単純な話ではないと思う。地球温暖化に本当に取り組むのであれば、個人の取り組みは必要なことだが、それよりも国、県、市レベルで取り組んでいく必要があるのではないか。
19	⑥事業全体を通じた総合的な評価	この事業は地球温暖化対策にどれだけ効果があるのか検証が難しい。

## 【評価結果まとめ】

①趣旨・目的及び達成手段	
3 概ね適正	この事業は国策であり、市レベルで事業の趣旨や目的等を変えることが出来るものではない。国の方針に沿って市で行うこととしては、今行っている事業内容で概ね適正であると判断した。
②事業の効果	
2 改善の必要あり	毎年〇件、〇kw、〇%といった指標が示されておらず、どのようにして2030年までに削減目標を達成出来るのかという計画が明確になっていない。また、太陽光発電システムに力を入れているが、他の支援メニューでも力を入れられるものはないか検討してほしい。
③事業の効率化	
2 改善の必要あり	事業の達成度を測るモノサシが予算額というのは、効率性の視点から矛盾があり、見直しが必要。
④課題解決への取り組み	
2 改善の必要あり	太陽光発電の必要コストやメリット・デメリット(長期的に)などの具体例を含め、市民へのより分かりやすい周知が必要。太陽光以外の温暖化対策の取り組みについても、周知・啓発を図ってほしい。 パネルの廃棄については、国全体で検討すべきであり、市レベルで対応するのは難しいが、今後の国の動向を注視してほしい。
⑤今後の事業の方向性	
2 改善の必要あり	この事業が地球温暖化対策に寄与しているかどうか検証することが難しいが、活動指標を見える化するなど工夫が必要である。
⑥事業全体を通した総合的な評価	
	個人レベルではなく、国や電力事業者を含めたもっと大きなレベルで取り組む必要のある事業であり、市として出来ることには限界がある。しかしながら、市として毎年事業の評価を継続していくことには意義があると考えられ、より明確な指標を示したうえで、達成状況や評価を積み重ね、今後の事業の方向性を見極めるために生かしてもらいたい。

担当課	経営支援課
事業名	経営支援事業

## I 定量評価（評価の各観点について、一定の基準に基づいた数値による評価）

	評価の観点					選択肢	
	①趣旨・目的及び達成手段	②事業の効果	③事業の効率化	④課題解決への取り組み	⑤今後の事業の方向性		
A委員	3	3	2	2	2	4	適正 適正な事業運営がなされている
B委員	3	2	2	2	3	3	概ね適正 工夫や改善の余地があるが、概ね適正な事業運営がなされている
C委員	4	3	3	2	3	2	改善の必要あり 概ねこのままの事業運営で差し支えないが、工夫や改善が必要である
D委員	2	2	1	2	1	1	抜本的見直し 抜本的に事業の運営を見直したほうがよい
E委員	3	2	2	3	3		
F委員	4	3	2	3	3		
G委員	3	3	2	3	3		
委員会全体	3	2	2	2	3		

## II 定性評価（評価の各観点について、意見やアドバイス等のコメントによる評価）

No.	評価の観点	評価コメント
1	①趣旨・目的及び達成手段	実施計画事業評価調書の内容からも概ね評価できる。
2	①趣旨・目的及び達成手段	必要な事業であると感じた。
3	①趣旨・目的及び達成手段	事業者への経営支援は必要なことだ。
4	①趣旨・目的及び達成手段	この数年、コロナ禍や円安、急激な物価上昇など、企業経営をひっ迫する状況が続いているため本事業を実施して企業を支援する意義はとて高いと考える。
5	②事業の効果	事業費がある程度確保できており、実績も把握しているため。しかし、実績の表記の仕方や目標の立て方について若干問題がある気がした。
6	②事業の効果	参加者から良かったという声があるならば効果は出ていると思った。
7	②事業の効果	事業が漠然としすぎていて効果が不明確だ。
8	②事業の効果	支援に対しどういう効果が出たかわかりにくい点があったが、今後、ホームページ等で成功事例の発信が実施できたと想定すると、効果があるのではと判断した。発信された成功事例は事業者にとっても参考になるため、事業者が今後相談しやすくなることが期待される。
9	②事業の効果	有効性が無いとは言えないが、検証はできていないため何とも評価しようがない。

	評価の観点	評価コメント
10	③事業の効率化	成果と活動に対する指標の設定が不明確であり、成果や効果の記載があっても、経営支援事業の達成に対してどれだけのモノサシを持ってどこまで進んだか把握できず、達成度がはかれない状態だ。
11	③事業の効率化	経営支援自体が短期間で結果が出るものではなく、効果・効率が見込まれるかが不明なため、わかりやすい指標を設けられるとよいのではないか。
12	③事業の効率化	同様の事業を行う団体が複数あるため、業務分担をする必要がある。
13	③事業の効率化	市の事業としてやるならば、民間との棲み分けを考え、市がやるべき理由を挙げる必要がある。
14	④課題解決への取り組み	今年度からデジタル人材育成オンライン講座を開始するなど、新しい取り組みをしているのは良い。事業内の予算配分が難しいと思うが、その時代に合わせ必要とされているところに力を入れて公平に対応してもらいたい。
15	④課題解決への取り組み	デジタル人材育成オンライン講座は定員が埋まったとのことだが、商工会議所や各種組合と連携することで今後は人数の上限が増やせるのではないか。
16	④課題解決への取り組み	改善方法や課題の把握をする仕組みが内部化されておらず、PDCAの仕組みになっていない。
17	④課題解決への取り組み	現状の把握が不十分なため、今後の取り組みについても曖昧な箇所がある。
18	⑤今後の事業の方向性	需要に応じて新しい事業に取り組むことは良いと思うが、事業を実施した効果も検証してほしい。創業支援であればその後創業しているか、事業を継続できているか、発展しているかなどの効果を測定し、次年度以降の予算配分にメリハリをつけてほしい。
19	⑤今後の事業の方向性	支援を受けた企業がその後どうなったかが重要だ。事業者は、事業を軌道に乗せたい、継続したいという強い意志があるため支援を受ける。一度の支援で足りないのであればその後の支援も必要な場合もあるため、アフターフォローの取り組みも考えてほしい。
20	⑥事業全体を通した総合的な評価	概ね適正と考えるが、予算上限の関係で支援を受けられない事業者もいることから、公平性をやや欠くところがある。
21	⑥事業全体を通した総合的な評価	個人的には、経営支援は基本的に商工会議所や(独法)中小企業基盤整備機構といった各種団体が行うべきで、市が行う必要はないと思う。市でやることに期待するのは補助金や助成金が挙げられる。他の団体に事業をまとめた方が良いのではないかと思いい、厳しい評価にさせてもらった。
22	⑥事業全体を通した総合的な評価	改善方法や課題の把握をする仕組みはできていないようだが努力はされている。

## 【評価結果まとめ】

①趣旨・目的及び達成手段	
3 概ね適正	経営支援の主体が複数あるため、基本的な市の役割を再確認し整理する必要がある。市はどこまで支援するのか、市がどういう役割を果たすのかははっきりさせた方が良い。
②事業の効果	
2 改善の必要あり	実績はわかるが、効果の検証がされていない。その実績は、全体の目標のどこまで達成しているのか、今後どう進めていけば良いのかが見えていない。
③事業の効率化	
2 改善の必要あり	各種支援団体がいるなかで、市が事業として取り組むべきはどこまでかが不明確なため、市の役割を整理すべきではないか。また、実績に対して、ここまでやればよくできた、あるいは足りない、といった指標も不明確であり、効率的に実施されているかどうか見えにくい。そのほか、経営支援そのものが短期間ではなかなか結果が出ないこともあるため、もう少し長期的な見通しで実施した方が良いのではという指摘もあった。
④課題解決への取り組み	
2 改善の必要あり	成果の指標を立て、どこまで達成できているかを把握してもらいたい。また、支援を受けた事業者の成功事例をホームページ等で発信するなど、支援を活用したいと思えるような工夫が必要だ。
⑤今後の事業の方向性	
3 概ね適正	デジタル人材育成オンライン講座に新たに取り組むといった努力が見られる。
⑥事業全体を通した総合的な評価	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業全体として目指す方向性は間違っていないが、長期的な視点での検証が必要なこともあり、効果検証が十分とは言えない。支援を受けた事業者へのアフターフォローも重要である。</li> <li>・関係団体の事業と連携やすみ分けを行い、事業者にとってより効果的な事業に整理していく必要があるのではないか。</li> <li>・アンケート調査だけでは事業者が抱える悩みや課題が十分に把握できているかは疑問が残り、課題把握の仕組みづくりが必要ではないか。</li> </ul>